

2. 業種別景況感







(1) 建設業

建設業は「売上」、「採算」、「資金繰り」いずれも良化傾向

今月の建設業の景況は、「売上 DI」が 10.0、「採算 DI」が 10.5、「資金繰り DI」が 25.0 となり、前月に比べ、いずれの指標においても良化している。特に「資金繰り DI」が良化している。また、前年と比べると、仕入単価が上昇していると回答する企業が散見されているにも関わらず、「売上 DI」、「採算 DI」は若干の良化傾向にあると言え、「資金繰り DI」は 30 ポイント以上良化している。

今後の見通しについては、よくなると回答した企業の割合が悪くなると回答した企業を上回り、比較的前向きな見通しとなっている。

■建設業の景況天気図

時期	比較時期	売上		採算		資金繰り	
		天気	DI	天気	DI	天気	DI
今月	前月		 10.0		 10.5		 25.0
	前年		 5.0		 5.0		 35.0

■今後の見通し

	天気	DI
今後の見通し		 23.5

*DI=よくなると回答した企業の割合-悪くなると回答した企業の割合

■建設業のコメント

- ・ほとんど変わらない。月別比較をしても時期があるので意味がない。会社持続には後継者が必要
- ・仕事があるけど人がいない。外注多く、利益減。
- ・消費税の税率 up が心配

(2) 製造業

製造業は前年と比べると「売上」、「採算」、「資金繰り」いずれも悪化

今月の製造業の景況については、「売上 DI」が 4.3、「採算 DI」が△4.5、「資金繰り DI」が 0.0 となった。「売上 DI」に関しては、若干の良化傾向にも関わらず「採算 DI」はマイナスとなった。得意先からの値下げ要請や仕入単価・人件費上昇分を価格転嫁できないことが一因になっているものと推測される。また、前年と比較すると「売上 DI」、「採算 DI」、「資金繰り DI」いずれの指標もマイナスとなっている。

今後の見通しについては、よくなると回答した企業の割合が悪くなると回答した企業の割合を 10 ポイント上回った。

■製造業の景況天気図

時期	比較時期	売上		採算		資金繰り	
		天気	DI	天気	DI	天気	DI
今月	前月		4.3		△4.5		0.0
	前年		△13.6		△22.7		△8.7

■今後の見通し

	天気	DI
今後の見通し		10.0

*DI=よくなると回答した企業の割合-悪くなると回答した企業の割合

■製造業のコメント

- ・設備と従業員の規模内でしか仕事をこなせないなので拡大するには設備投資と人材確保が必要です。
- ・納期短い、仕事取引先減、人材難で
- ・自分のところは値段決めれるので変化ない。やれる仕事はとろうと思えばいつでもとってこれるが。やりすぎると単価を下げる要因になる。
- ・機械化（オートメーション）についていけない企業は廃業している。













(3) 卸売業

卸売業は前年比較で「売上」は悪化、見通しも厳しい

今月の卸売業の景況は、「売上額 DI」が 60.0、「採算 DI」が△20.0、「資金繰り DI」が 0.0 となり、対象企業数はそれほど多くないものの、「売上 DI」が良化している様子が見て取れる。他方、「採算 DI」はマイナスとなっていることから収益確保が課題となっているものと推察される。前年と比較すると、「売上額 DI」は、マイナスとなっており、前月と比較すれば良化しているが、対前年では芳しくないようだ。

今後の見通しについては、悪くなると回答した企業がよくなると回答した企業を大幅に上回り、楽観視できない状況が続く。

■卸売業の景況天気図

時期	比較時期	売上		採算		資金繰り	
		天気	DI	天気	DI	天気	DI
今月	前月		 60.0		 △20.0		 0.0
	前年		 △25.0		 0.0		 25.0

■今後の見通し

	天気	DI
今後の見通し		 △60.0

*DI=よくなると回答した企業の割合-悪くなると回答した企業の割合

■卸売業のコメント

- ・社会構造の変化により商品の使用頻度が減っているため見通しが厳しい。













(4) 小売業

小売業は「売上」、「採算」、「資金繰り」が悪化、見通しも依然厳しい


今月の小売業の景況は、「売上 DI」が $\Delta 31.6$ 、「採算 DI」が $\Delta 26.3$ 、「資金繰り DI」が $\Delta 10.5$ となり、いずれの指標においてもマイナスとなった。また、対前年比でも「売上 DI」、「採算 DI」、「資金繰り DI」においても各項目でマイナスとなった。特に、対前年比で「売上 DI」、「採算 DI」のマイナス幅が大きくなっている。高齢者を主要顧客とする事業者では財布の紐が固いとの声も聞かれる。

今後の見通しについては、悪くなると回答した企業がよくなると回答した企業を大幅に上回り、好材料を見出せないでいる。

■小売業の景況天気図

時期	比較時期	売上		採算		資金繰り	
		天気	DI	天気	DI	天気	DI
今月	前月		 $\Delta 31.6$		 $\Delta 26.3$		 $\Delta 10.5$
	前年		 $\Delta 57.9$		 $\Delta 52.6$		 $\Delta 10.5$

■今後の見通し

	天気	DI
今後の見通し		 $\Delta 62.5$

*DI=よくなると回答した企業の割合-悪くなると回答した企業の割合

■小売業のコメント

- ・客層が高齢者で年金が少なく、医療費が増加しており財布のひもが固くなっている。
- ・主力商品は相場価格なので毎年大幅に変動。













(5) 飲食業

飲食業は「売上」、「採算」、「資金繰り」が悪化、見通しでは改善期待も

今月の飲食業の景況は、「売上 DI」が $\Delta 30.0$ 、「採算 DI」が $\Delta 40.0$ 、「資金繰り DI」が $\Delta 30.0$ となり、いずれの指標においても 30 ポイント以上のマイナス幅となった。また、対前年比でも「売上 DI」、「採算 DI」、「資金繰り DI」の各項目でマイナスとなった。特に、対前年比で「売上 DI」のマイナス幅が大きくなっている。前月、前年いずれと比較してもマイナスとなっており、悪化傾向は顕著である。

今後の見通しについては、悪くなると回答した企業がよくなると回答した企業を 10 ポイント程度上回るにとどまった。

■飲食業の景況天気図

時期	比較時期	売上		採算		資金繰り	
		天気	DI	天気	DI	天気	DI
今月	前月		 $\Delta 30.0$		 $\Delta 40.0$		 $\Delta 30.0$
	前年		 $\Delta 55.6$		 $\Delta 44.4$		 $\Delta 33.3$

■今後の見通し

	天気	DI
今後の見通し		 $\Delta 14.3$

*DI=よくなると回答した企業の割合-悪くなると回答した企業の割合

■飲食業のコメント

- ・消費税増税が心配である。
- ・北海道産東北産の食材が高騰しており採算が合わない。













(6) サービス業

サービス業は「売上」、「採算」、「資金繰り」が若干の悪化傾向

今月のサービス業の景況は、「売上 DI」が $\Delta 7.7$ 、「採算 DI」が $\Delta 7.7$ 、「資金繰り DI」が $\Delta 14.3$ となり、いずれの指標においても若干のマイナスとなった。また、対前年比では、「採算 DI」、「資金繰り DI」で若干のマイナスとなった一方で、「売上 DI」はプラスとなった。全体的には、各項目で「不変」とする回答する企業が大勢を占めている。

今後の見通しについては、よくなると回答した企業の割合と悪くなると回答した企業の割合が同じとなり、趨勢が読み取りづらい。

■ サービス業の景況天気図

時期	比較時期	売上		採算		資金繰り	
		天気	DI	天気	DI	天気	DI
今月	前月	 	$\Delta 7.7$	 	$\Delta 7.7$	 	$\Delta 14.3$
	前年	 	7.7	 	$\Delta 7.1$	 	$\Delta 15.4$

■ 今後の見通し

	天気	DI
今後の見通し	 	0.0

*DI=よくなると回答した企業の割合-悪くなると回答した企業の割合

■ サービス業のコメント

- ・ 少子高齢化の影響があります。
- ・ 今のところ、良くも悪くもあまり変化なし。
- ・ 代表を初めとして構成員の中高齢化が顕著。そのため事業継承がさし迫った課題であるが、技術職の人材確保により解決し得るものとする
- ・ 自分の健康維持が課題
- ・ 1年ごとに良い悪いがあるが特に大きな変化や問題はない。













(7) その他

その他は「売上」「採算」でプラス、今後も改善傾向

今月のその他の景況は、「売上 DI」が 50.0、「採算 DI」が 25.0、「資金繰り DI」が 0.0 となり、特に「売上 DI」の項目でプラス幅が大きくなった。また、対前年比では、「採算 DI」が 0.0 ポイントとなったが、「売上 DI」、「資金繰り DI」で若干のマイナスとなった。複数業種を選択した企業がその他に含まれるため、事業を複数の業種で展開していたことがプラスに作用している企業もあるものと推察される。

今後の見通しについては、よくなると回答した企業の割合が悪くなると回答した企業の割合を上回り、改善傾向が続くものとみられる。

■その他の景況天気図

時期	比較時期	売上		採算		資金繰り	
		天気	DI	天気	DI	天気	DI
今月	前月	 	50.0	 	25.0	 	0.0
	前年	 	11.1	 	0.0	 	12.5

■今後の見通し

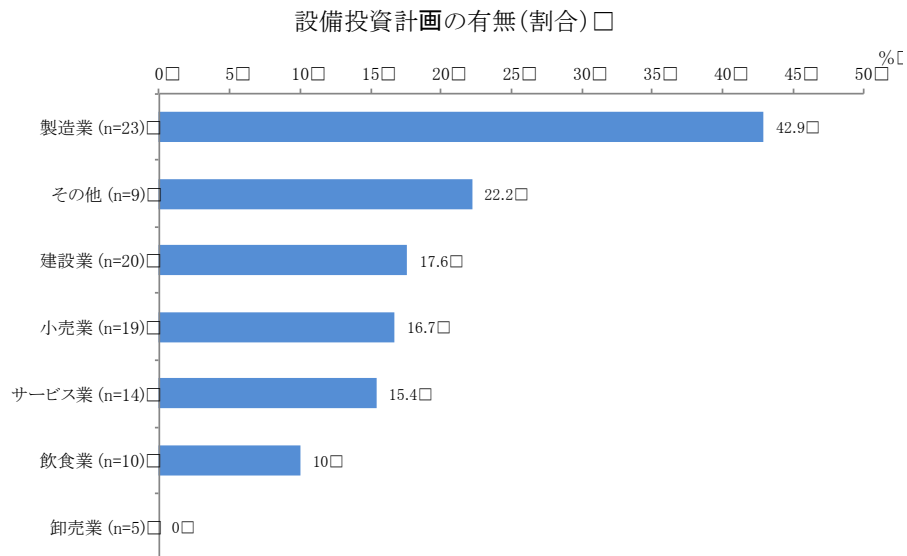
	天気	DI
今後の見通し	 	20.0

*DI=よくなると回答した企業の割合-悪くなると回答した企業の割合

■その他のコメント

- ・人材の確保が足りていない。従業員の育成が難しい。

3. 設備投資の計画



4. 経営上の問題

業種	順位	経営上の問題点	割合*
建設業	1	人材確保・育成	55.0%
	2	外注先・仕入先・協力企業の確保	35.0%
		後継者・事業承継	35.0%
製造業	1	人材確保・育成	39.1%
	2	外注先・仕入先・協力企業の確保	34.8%
		販路の確保・開拓 設備の老朽化	34.8%
卸売業	1	販路の確保・開拓	40.0%
小売業	1	販路の確保・開拓	57.9%
	2	需要の停滞	47.4%
	3	新商品・技術の開発	21.1%
		既存顧客の管理 原材料・仕入価格の高騰	21.1%
飲食業	1	設備の老朽化	50.0%
		原材料・仕入価格の高騰	50.0%
	3	売上の停滞・減少 店舗設備の狭小・老朽化	30.0%
サービス業	1	同業者との競争激化	42.9%
	2	販路の確保・開拓	35.7%
	3	既存顧客の管理 資金繰り	21.4%
その他	1	販路の確保・開拓	44.4%

*割合=選択企業数/業種ごとの企業数
*10件未満は件数の1番多い項目のみを掲載